
質問 1. 「くすり」は「たべもの」とどこがちがうのでしょうか？

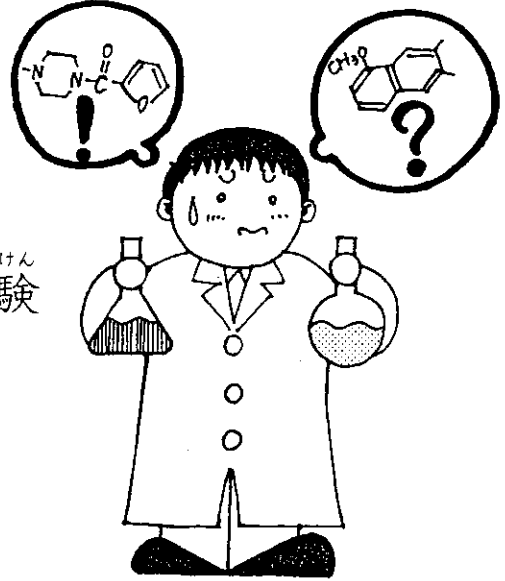
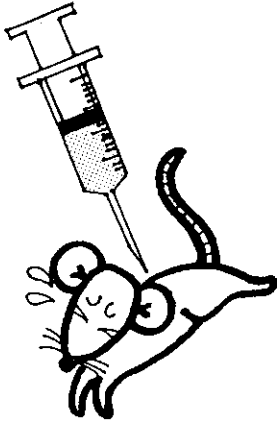
答え

1. くすりは病気をなおすため、またいろいろな症状をとるために生まれました。
2. くすりが生まれるまでには、長い年月とたくさんの費用がかかっています。
くすりとたべもののチョコレートの生まれるまでを図1・2でよく比べてみましょう。
3. くすりの体に対するはたらきは、いろいろな研究で確認されています。また、くすりは安全をたしかめるたくさんの試験にパスしなければなりません。
4. くすりは「医療用医薬品添付文書」というたくさんの「情報」がいっしょについてきます。

ず ^{しんやく}
 図1. 新薬のできるまで

「くすりのたまご」のふるいわけ

^{どうぶつ} ^{ぜんりんしゆしけん}
 動物での前臨床試験



^{ひと} ^{りんしゆしけん} ^{ちけん}
 人での臨床試験(治験)

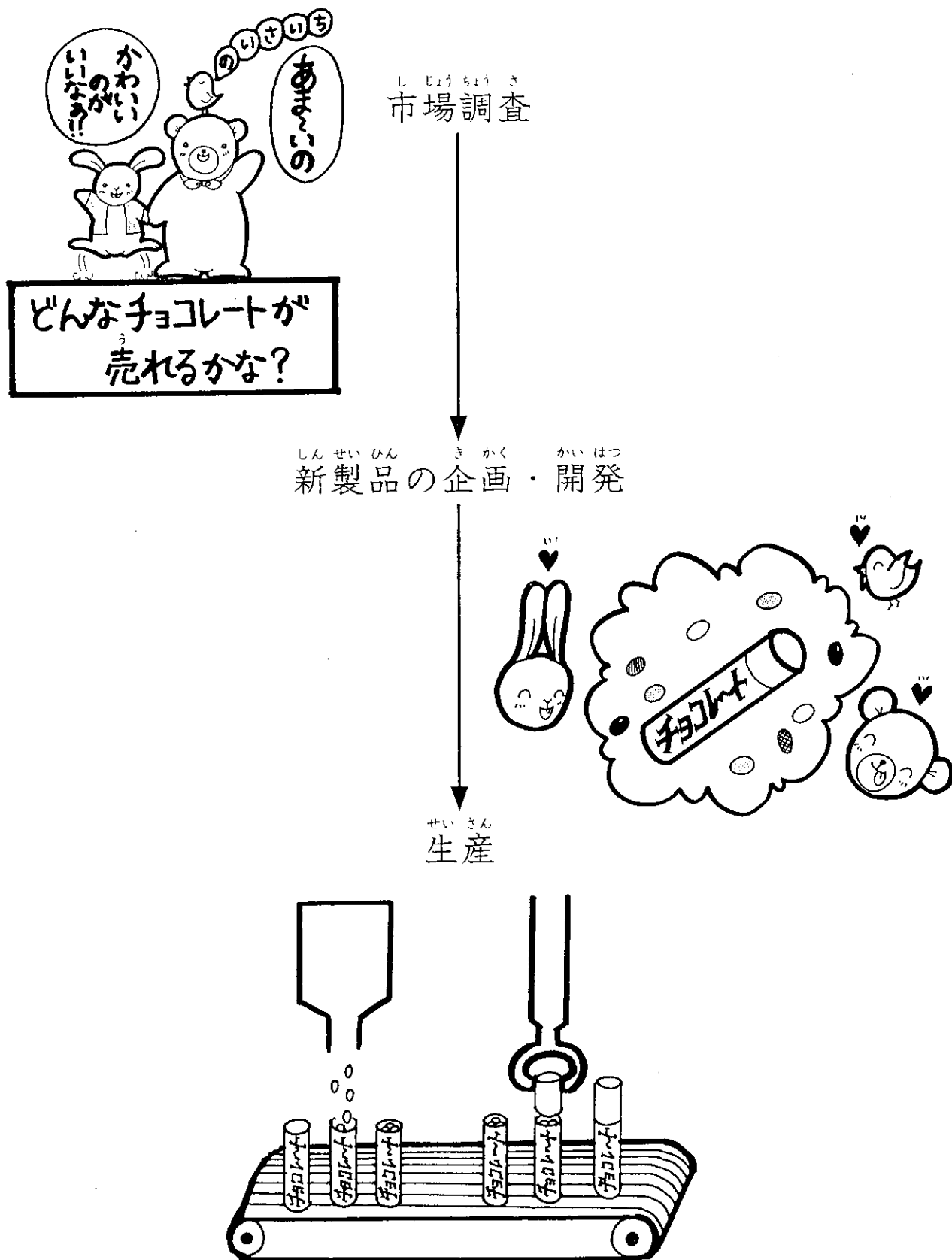
^{こうせいろうどうしゆ} ^{しゆにんしんせい} ^{せんもんか} ^{しんさ}
 厚生労働省への承認申請と専門家による審査

よくきくね!
 あんぜんだね!



^{しゆにん}
 承認

ず 図2. ^{しんせいひん}新製品のチョコレートのできるまで

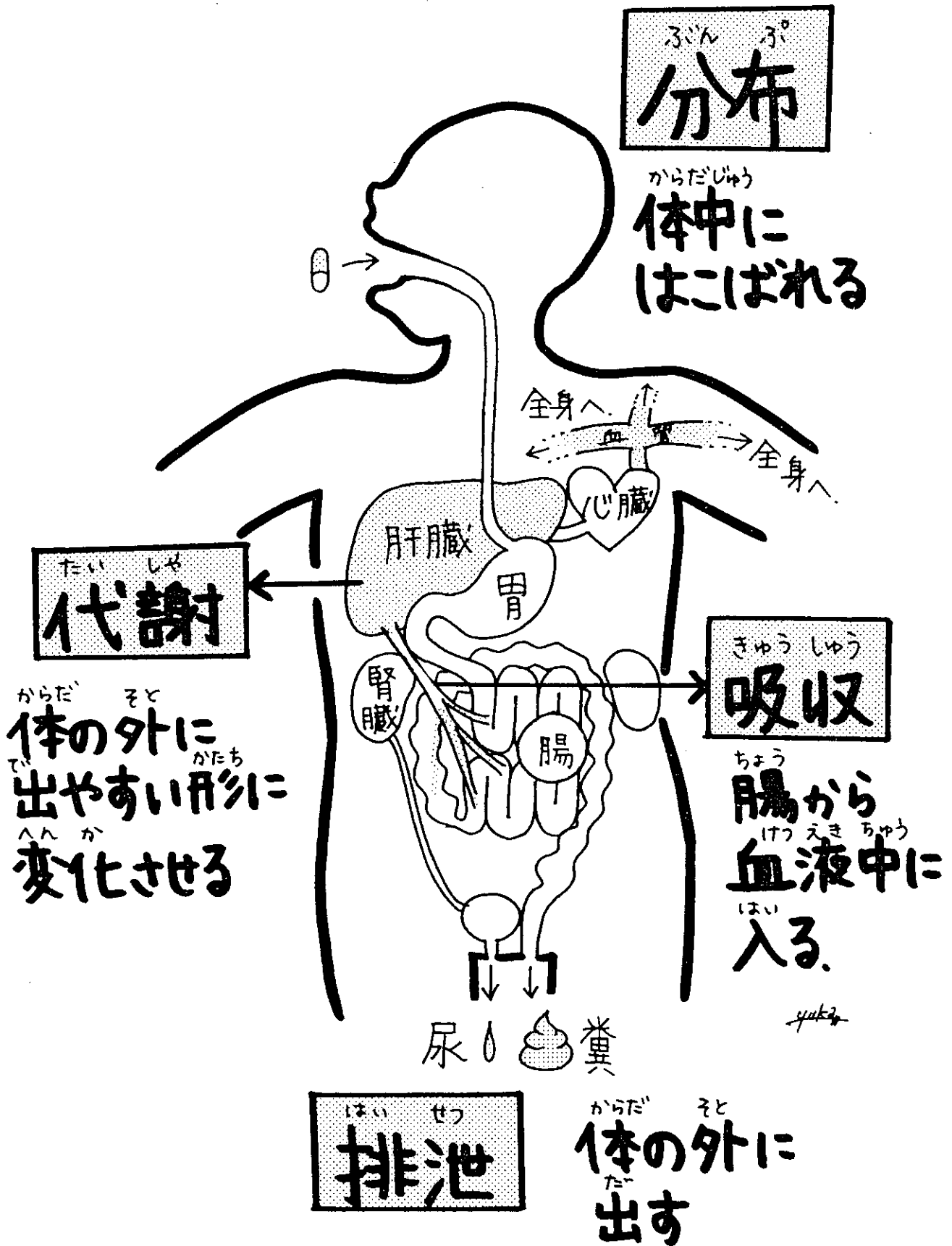


質問 3. くすりはのむと体の中でどうなるのでしょうか？

答

1. 口からのんだくすりは、胃や腸でこわれて→散って→とけて吸収されます。
2. 吸収されたくすりは、血液などによって体の組織に運ばれ、くすりの作用を発揮します(分布)。
3. くすりは作用を発揮したあと、肝臓などで体のそとにでやすい形に変化し(代謝)、最後に糞や尿中に排泄されます(図3)。

図3. くすりは体の中からだなかでどうなるのか



質問 4. くすりにはどんな「種類」があるのでしょうか？

答え

1. くすりはそのはたらきを出すためにさまざまな種類があります。その使い方によって、内用剤・外用剤・注射剤にわけることができます(図4)。
2. 内用剤は口からのむくすりです。
錠剤、カプセル剤、散剤、水剤などがあります。
3. 外用剤は皮膚あるいは粘膜に使用するくすりです。
軟膏剤、点眼剤、坐剤、貼付剤、吸入剤などがあります。

大切：外用剤は口からのんだりしないように注意しましょう。

大切：外用剤は体のどこに使うのかきちんと理解しましょう。

4. 注射剤は皮膚内または筋肉内あるいは血管内に直接用いるくすりです。

注射剤の種類

アンプル



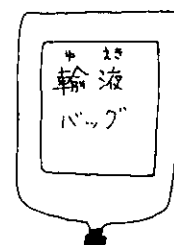
バイアル



輸液ボトル

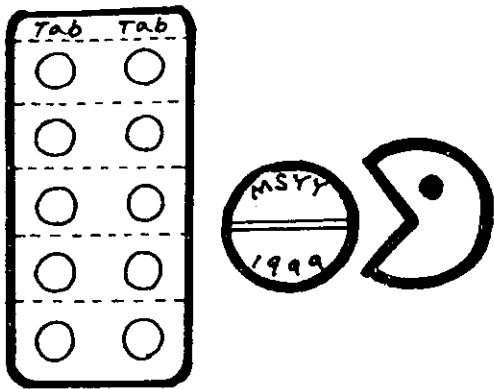


輸液バッグ

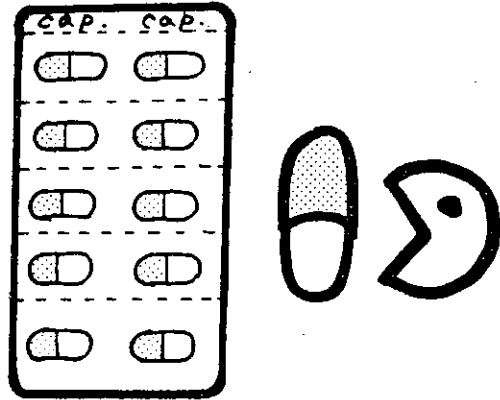


ず 図4. くすりの種類 しゅるい

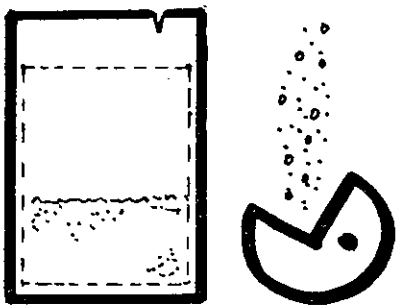
ない よう ざい
〈内用剤〉



じょう ざい
(錠剤)

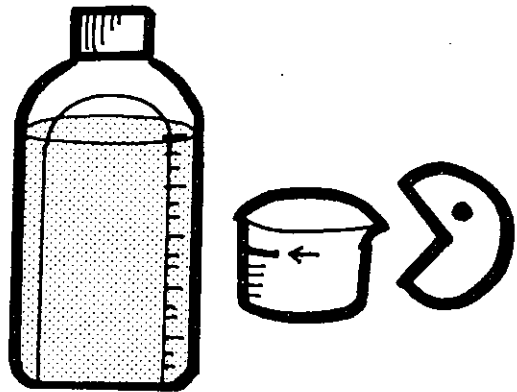


ざい
(カプセル剤)



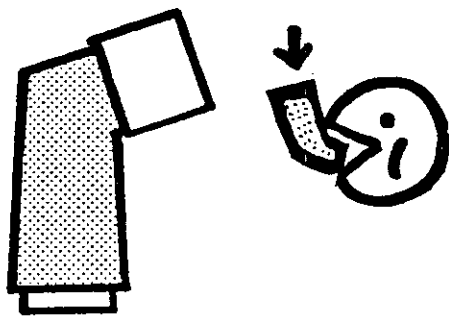
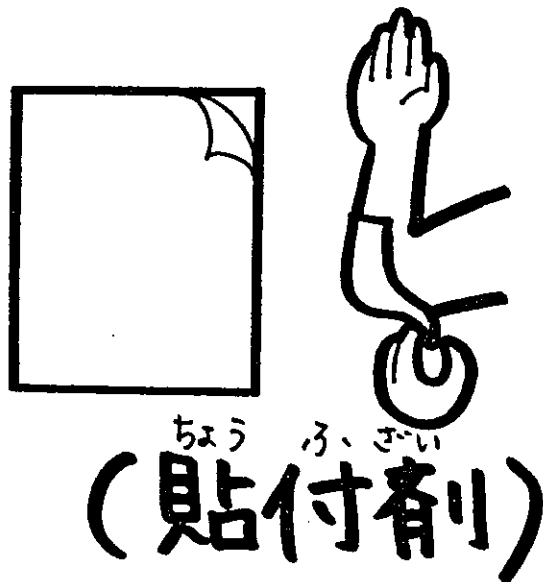
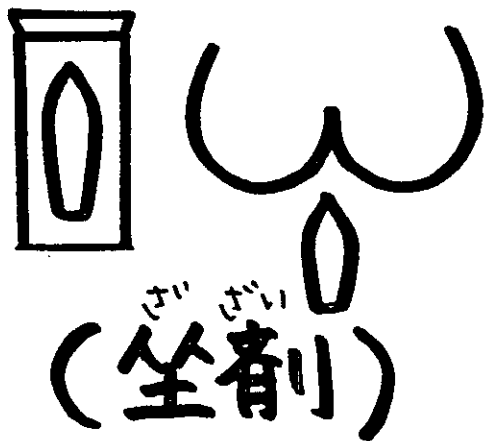
さん ざい
(散剤)

かりゅうざい
(顆粒剤)



すい ざい
(水剤) ゆかん

がいようざい
〈外用剤〉



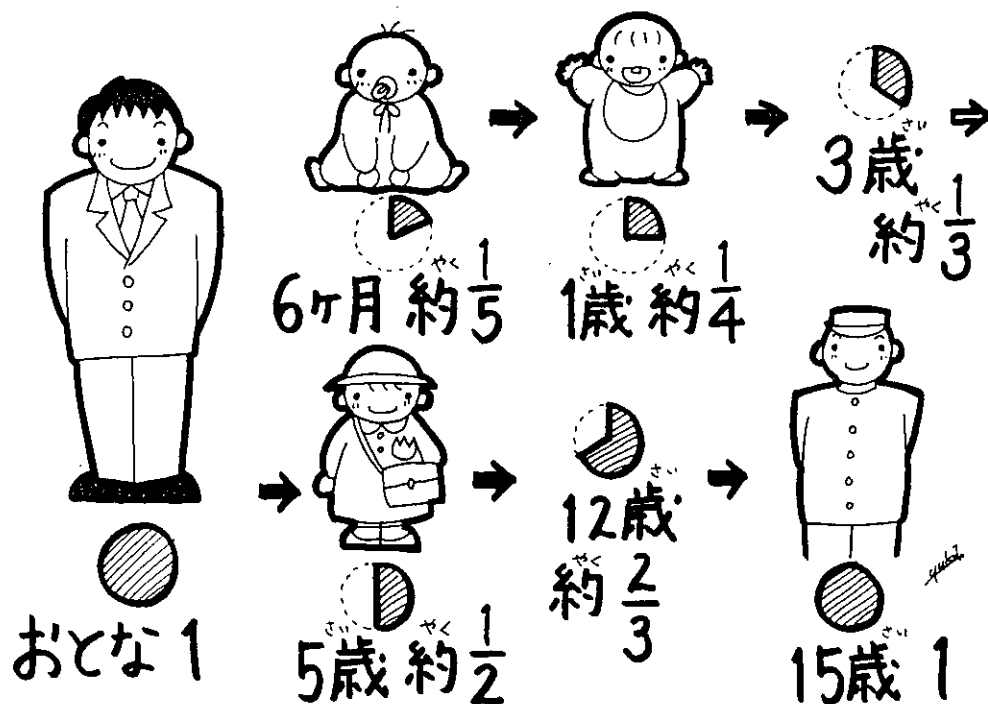
きゆうにゆうざい
(吸入剤)

質問 5. おとなと子どもではくすりをのむ量は違いますか？

こたえ
答

- くすりは人によりまた、年齢、性別(男・女)、病状によってその人にあつた最もよい量があります。
- 一般的に、おとなののむくすりの量を1とすると、
 - 生後6ヶ月の乳児 → 約 $1/5$ 、
 - 1歳 → 約 $1/4$ 、
 - 3歳 → 約 $1/3$ 、
 - 5歳 → 約 $1/2$ 、
 - 12歳 → 約 $2/3$ 、
 - 15歳 → 1 といわれています。

図 5. こどものくすりの量

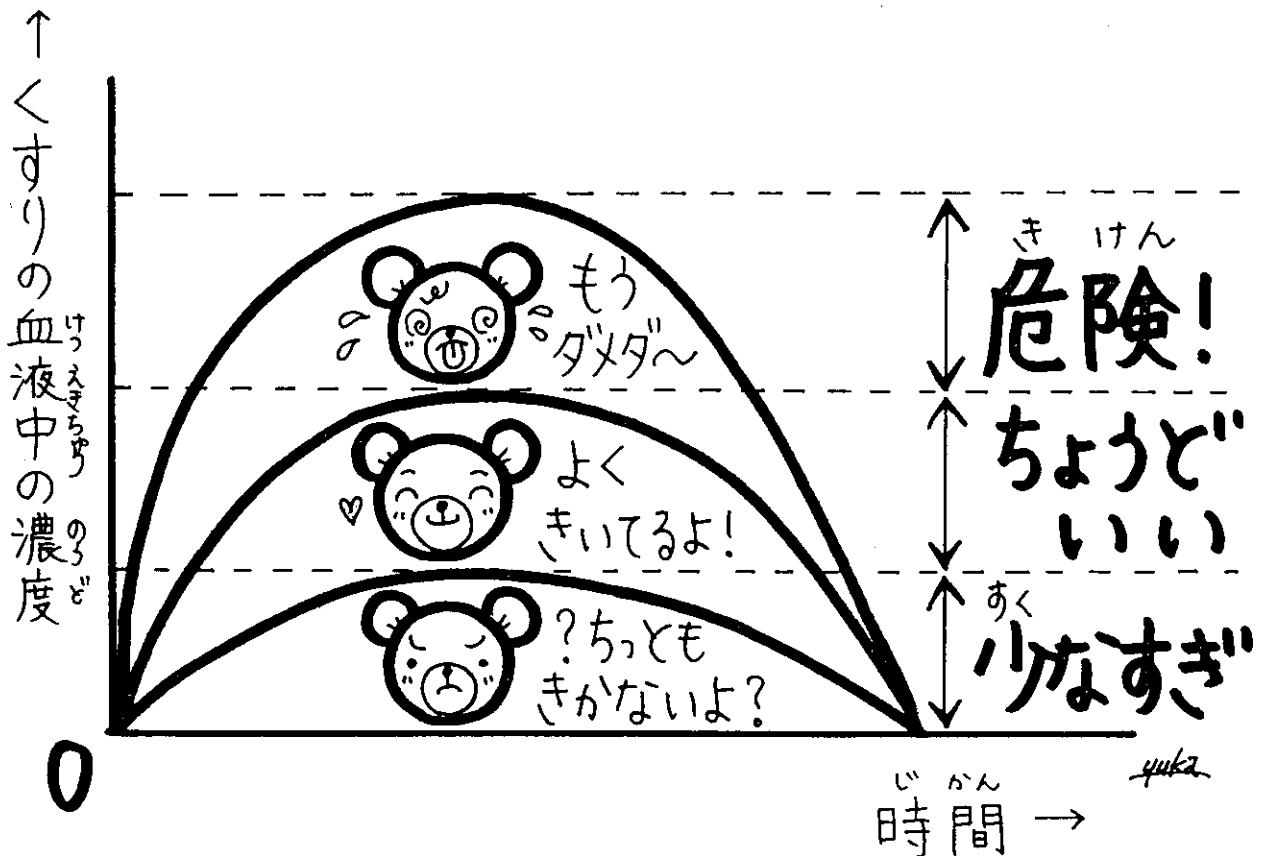


質問6. くすりのききめとくすりの量は関係がありますか？

答

1. くすりはちょうどよい量を用いることでその効果を発揮します。ですから、その量が多すぎるとくすりの作用も強まり、副作用や中毒をおこしてしまいます。しかし、少なすぎるとくすりの効果がでなくなってしまいます。

図6. くすりの血液の中の濃度(薬物血中濃度)

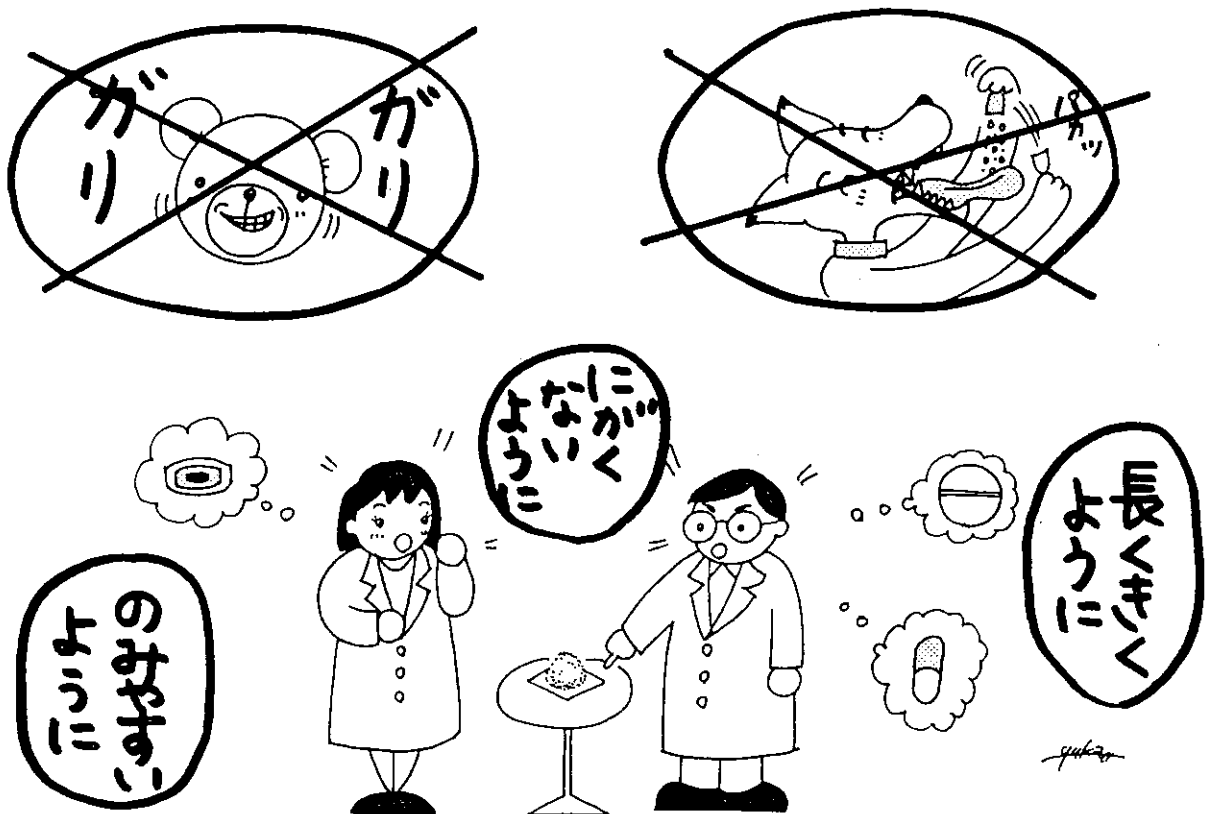


質問7. 錠剤を口の中をかみくだいてのんでもいいですか？

こたえ
答

1. 錠剤を口の中をかみくだいてのんだり、カプセル剤をはずしてのんだりしてはいけません。
2. その理由は、錠剤、カプセル剤が、うまく体に吸収されたり、くすりののがみを抑えたり、くすりのききめを長持ちさせるように製薬会社が特別な工夫をしているものが多いので、錠剤をかんだりカプセルをはずすとその効果がでなくなってしまうからです。

図7. 錠剤、カプセル剤をのむとき注意すること

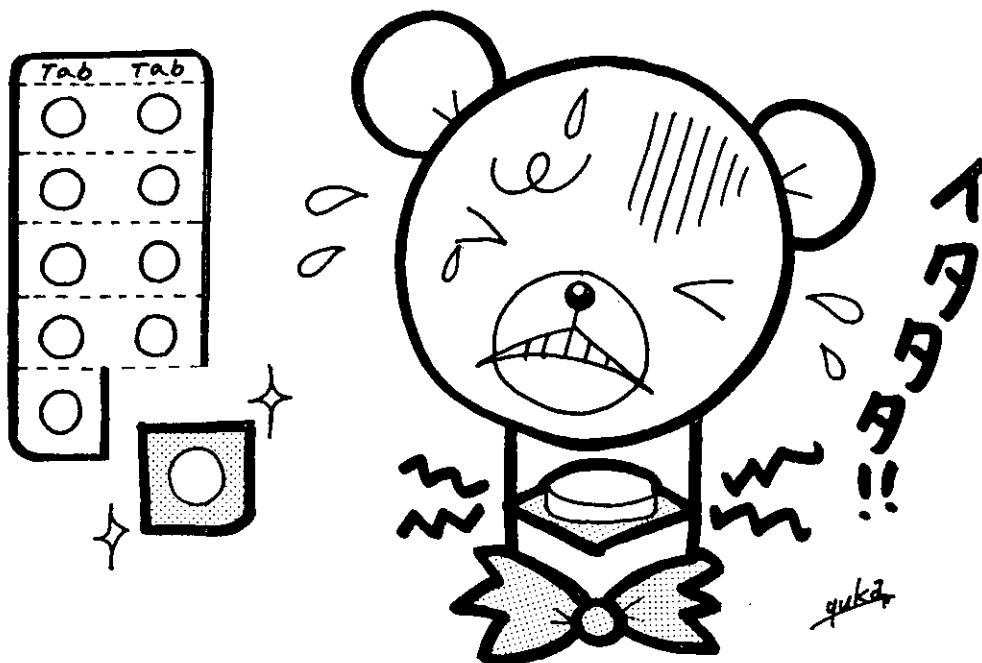


質問 8. 錠剤はなぜ包装から取り出してのまなけばいけ
ないのですか？

こたえ
答

1. 錠剤、カプセル剤を包装から取り出さないでのむと、包装の
とがったかどがのどにささったりするため、とても重大な事故
になります。
2. とくにいそいでいたり、ついうっかり、テレビをみながら
というような場合に事故が多いそうです。
3. 錠剤、カプセル剤をのむ場合は必ず包装から取り出しての
むようにしましょう。

図 8. ついうっかりはさあたいへん！

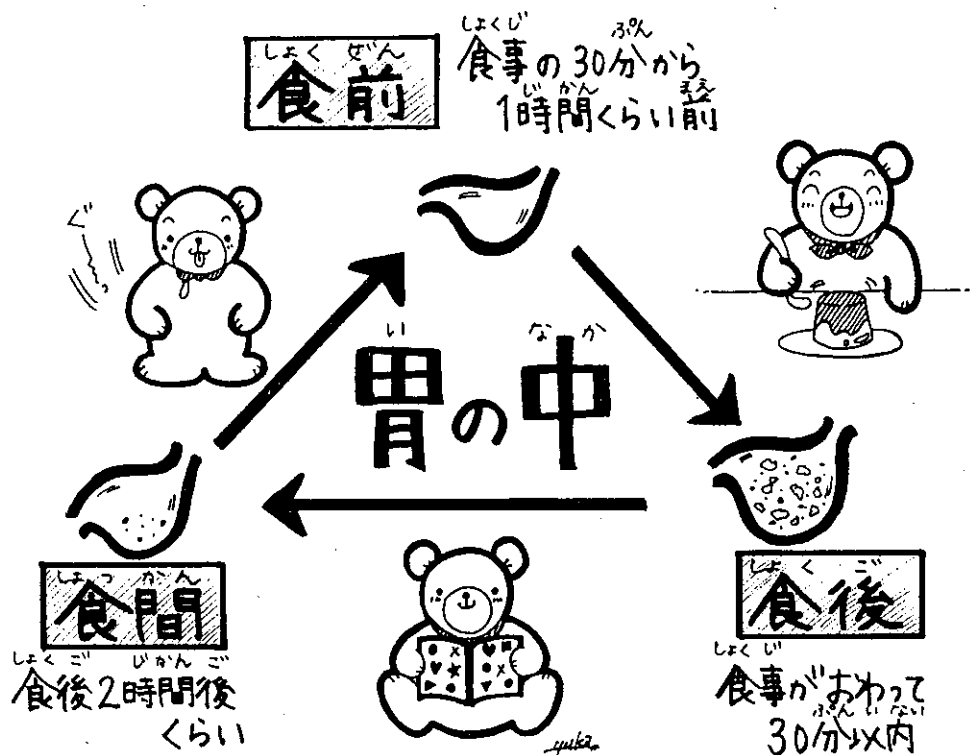


質問 9. 「食前、食後、食間、頓服」とはいつくすりをのむ
 ことですか？

こたえ
 答

1. 食前：食事の30分から1時間くらい前です。
2. 食後：食事がおわってから30分以内です。
3. 食間：食後2時間くらいです。
4. 頓服：熱が高いとき、痛いときなど症状を一時的によくする
 ためにのむことをいいます。

図 9. くすりをのむ時間



しつもん
質問 10. くすりはどれくらいの水みずでのむといいですか？

こたえ
答

1. くすりは必ずコップ1杯の水またはぬるま湯ゆでのみます。
なぜコップ1杯の水またはぬるま湯ゆが必要ひつようなのでしょう
か？

りゆう
理由 ☆くすりをのみやすくする。
☆くすりをよくとかして吸収きゅうしゅうをよくする。
☆のどにくすりがかえるのをふせぐ。

みず せいげん
(水の制限せいげんをうけている人は、医師いしの指示しじに従したがいましょう。)

ず
図 10. くすりをのむときの水みずの量りょう



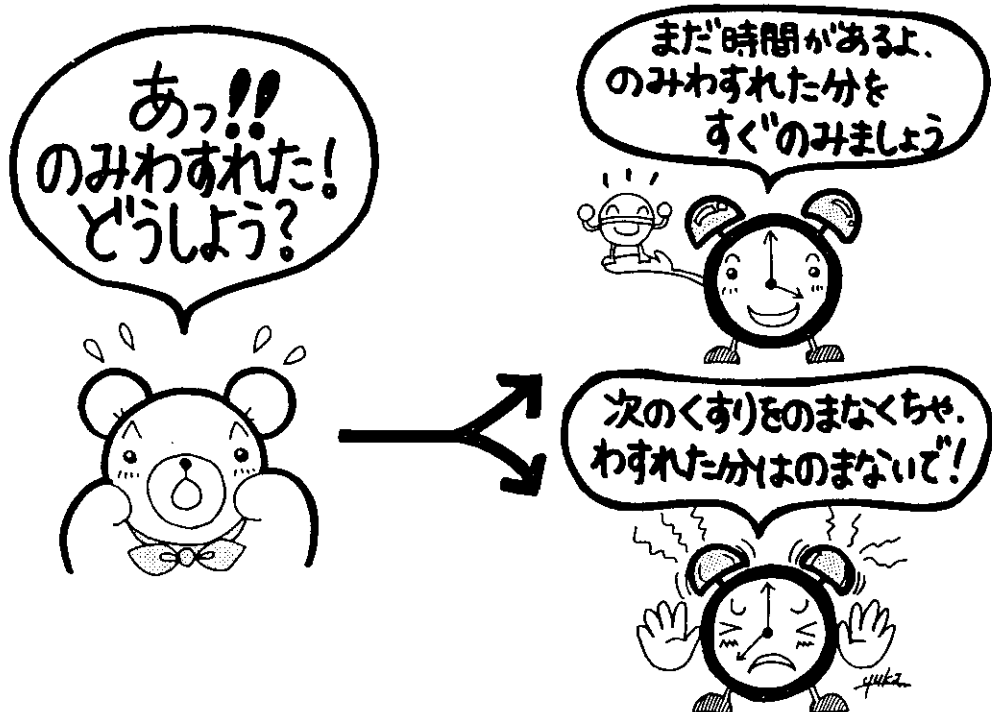
しつもん
質問

11. もしくすりをのみわすれたらどうしたらいいのですか？

こたえ
答

1. つぎのくすりをのみむまで、^{じかん}時間があるときは、^き気がついたらすぐにのみます。
2. つぎのくすりをのみむ^{じかん}時間に^{ちか}近かったり、その^{じかん}時間がきてしまったら、1回分はあきらめます。^{かいぶん}2回分をいっしょにのんではいけません。
3. ^{とうにょうびょう}糖尿病のくすりなど、けっしてのみわすれてはいけないくすりもあります。

す
図 11. もしくすりをのみわすれたら



質問 12. くすりのふくろ(薬袋)にはなにが書いてあるの
ですか？

こたえ
答

1. くすりの袋(薬袋)には、

☆患者さんの名前

☆1日何回くすりをのむか(服用回数)

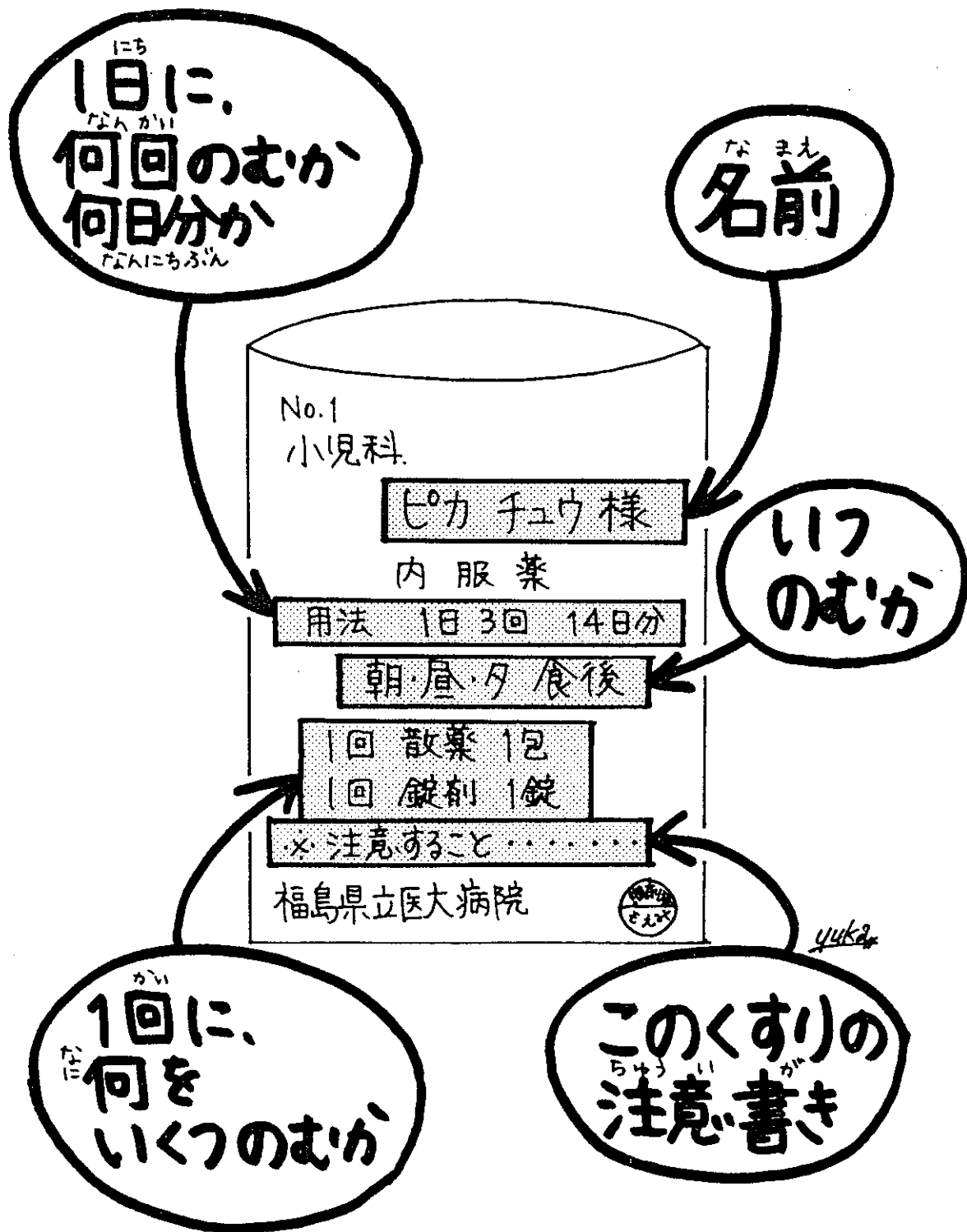
☆何日分のくすりか・いつくすりをのむのか(用法)

☆1回に何錠(カプセル)または粉薬を何包のむのか(用量)

☆くすりを保存するときの特別な注意が書いてあります(図
12)。

くすりをのむ前に、薬袋やビンをよくみて、用法や用量を確か
めましょう。

図 12. くすりのふくろ(薬袋)に書いてあること

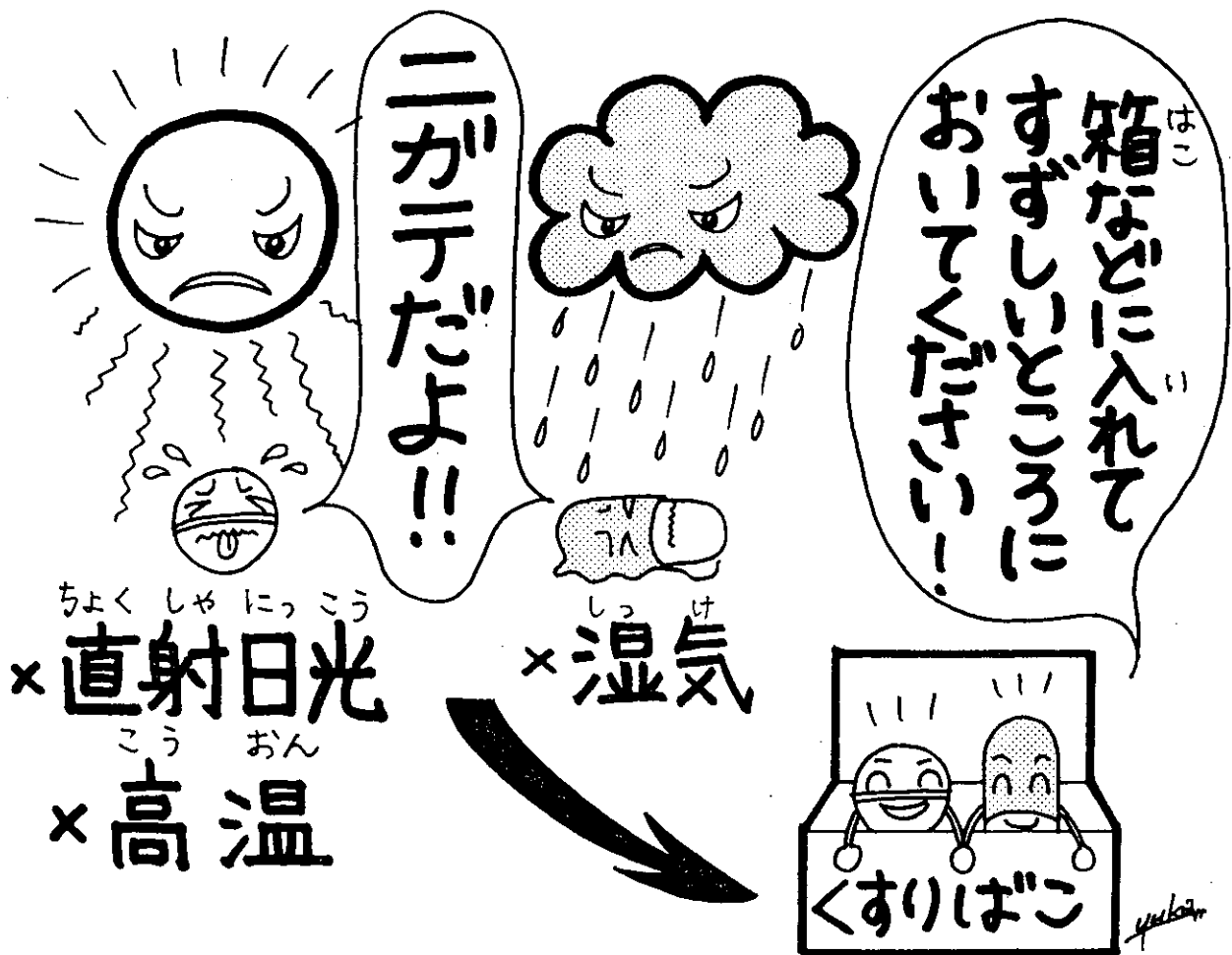


質問 13. くすりはどうやって保存するといいですか？

こたえ
答

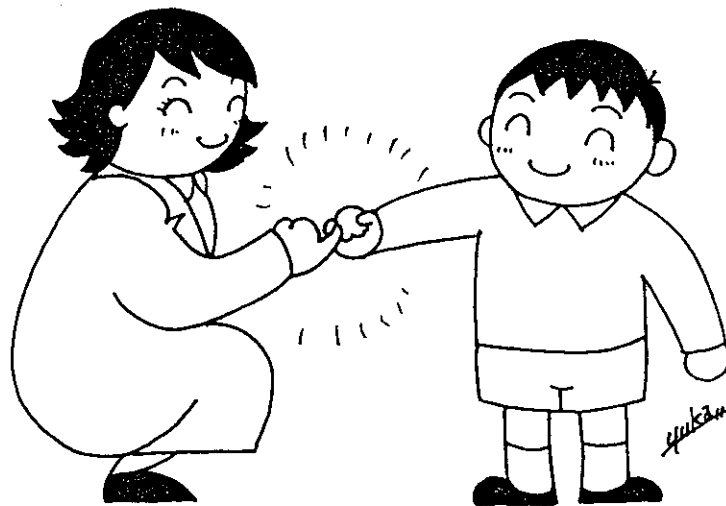
1. 直射日光、高温、湿気をさけてください。
2. くすり以外のものと区別して保管してください。

図 13. くすりの保存方法



「くすりをのむときの^{やくそく}約束

1. 毎日^{まいにち}決^きまった^{じかん}時間^{じかん}にくすりをのみます。
 2. くすりをのむ^{りょう}量^{まも}を守ります。
 3. 病^{びょう}気^きがなおったと思^{おも}っても決^きめられた日^ひまでくすりをのみつづけます。
 4. ほかの^{ひと}人^{ひと}からくすりをもらってのんだりしません。
 5. ほかの^{ひと}人^{ひと}に自^じ分^{ぶん}のくすりをあげたりしません。
 6. 前^{まえ}の病^{びょう}気^きのときにもらったくすりは使^{つか}いません。
 7. くすりはいつもきちん^{せいり}と整理^{せいり}しておきます。
-



薬の正しい使い方

～上級用テキスト～

